

Ⅱ 調査結果の概要

1. 観光入込客延べ数

平成 27 年の島根県の観光入込客延べ数は 33,158 千人であり、前年と比べると、48 千人（-0.1%）減少した。

〈観光入込客延べ数〉

区 分	総 数	内 訳	
		県内客	県外客
観光入込客延べ数（千人地点）	33,158	7,013	26,145
構成比	100.0%	21.2%	78.9%
対前年増減	-0.1%	-2.4%	+0.5%

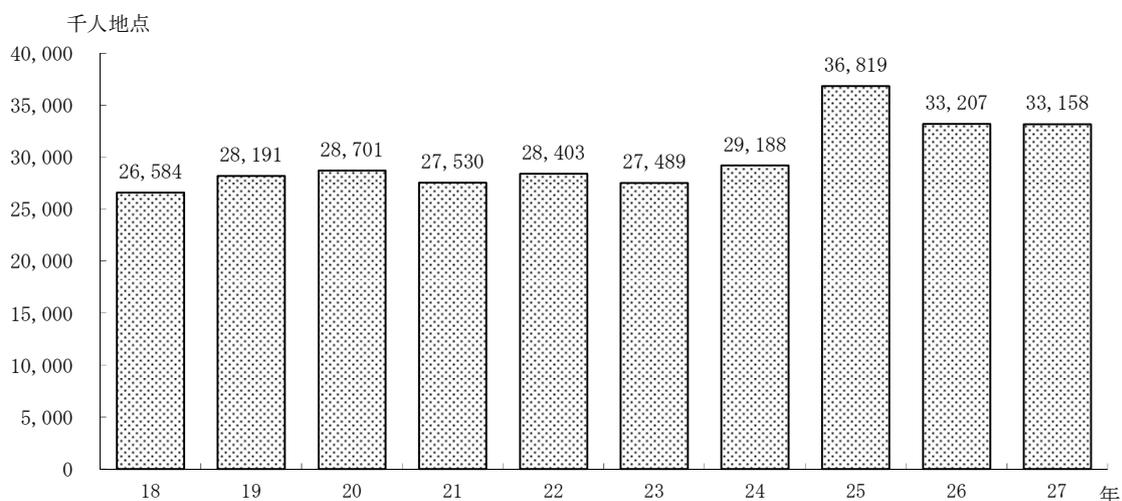
注) 県内客・県外客の別は、観光入込客延べ数に観光地点アンケート調査で得られた県内客・県外客の割合を乗じて算出した。

注) 本調査結果での率の合計については、端数処理のため 100%にならない場合がある。

【主な変動要因】

- ①尾道松江線の全線開通
- ②「松江城」の国宝指定
- ③「津和野今昔～百景図を歩く～」の日本遺産認定
- ④隠岐への団体ツアー客の増加

〈観光入込客延べ数の推移〉



2. 観光入込客実人数

観光入込客延べ数をもとに観光地点アンケート調査等で得られた数値により推計した観光入込客実人数は、14,145 千人であり、前年と比べると、407 千人（-2.8%）減少した。

〈観光入込客実人数〉

区 分	総 数	宿 泊 客		日 帰 り 客	
		県内客	県外客	県内客	県外客
観光入込客実人数(千人回)	14,145	120	2,544	4,370	7,112
構成比	100.0%	0.8%	18.0%	30.9%	50.3%
対前年増減	-2.8%	+5.1%	-0.4%	-4.2%	-2.9%

3. 観光消費額及び経済波及効果

観光地点アンケート調査で得られた観光消費額単価に観光入込客実人数を乗じて推計した平成27年の全県の観光消費額は、約1,367億円であり、前年に比べると約0.5億円(+0.04%)増加した。

この観光消費額が県内に及ぼす経済波及効果（直接効果、一次波及効果、二次波及効果の和）は、1.20倍の約1,634億円と推計され、前年に比べ約12億円（-0.7%）減少した。

注）経済波及効果は、平成20年島根県産業連関表を用いて推計。

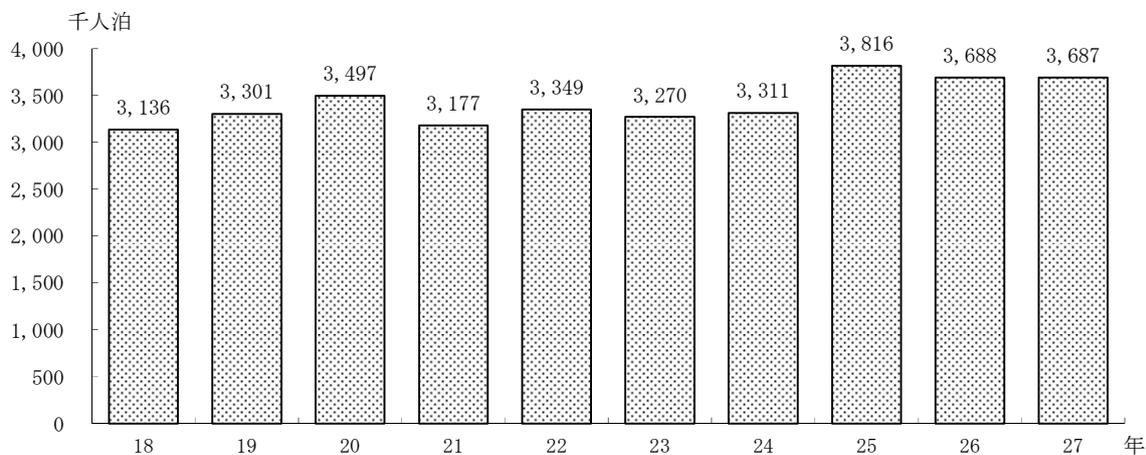
○ 1人当たり消費額

区 分	観光消費額単価		観光消費額 (百万円)
	(円)	対前年増減	
県内客・宿泊	18,614	+3.0%	2,233
県外客・宿泊	26,686	+6.0%	67,887
県内客・日帰り	3,648	-6.3%	15,941
県外客・日帰り	7,122	-0.8%	50,653
計	—	—	136,714

4. 宿泊客延べ数

平成27年の県内宿泊施設の宿泊客延べ数は、3,687千人であり、前年と比べると、1千人（-0.03%）減少した。

〈宿泊客延べ数の推移〉



区 分	ホテル 旅館	民 宿 ペンション	社会教育 施設	公共の 宿泊施設	キャンプ場	合 計
宿泊客延べ数 (人泊)	3,200,348	112,308	66,795	188,809	118,967	3,687,227
構 成 比	86.8%	3.0%	1.8%	5.1%	3.2%	100.0%
対前年増減	-0.9%	+7.3%	+3.6%	+1.7%	+13.9%	-0.03%

5. 外国人宿泊客延べ数

平成 27 年の島根県の外国人宿泊客延べ数は、51,899 人であり、前年と比べると、22 千人 (+75.2%) 増加した。

国・地域別では、台湾からが最も多く 14,360 人 (構成比 27.7%)、次いで韓国 7,218 人 (同 13.9%)、香港 6,427 人 (同 12.4%) となっている。

〈外国人宿泊客延べ数〉

国・地域	宿泊客延べ数		対前年増減
	人 泊	構 成 比	
台 湾	14,360	27.7%	+84.1%
韓 国	7,218	13.9%	+53.8%
香 港	6,427	12.4%	+192.7%
中 国	4,905	9.5%	+105.1%
ア メ リ カ	4,224	8.1%	+4.2%
フ ラ ン ス	1,921	3.7%	+60.2%
ド イ ツ	1,170	2.3%	+112.7%
ロ シ ア	936	1.8%	+36.4%
イ ギ リ ス	891	1.7%	+115.2%
オーストラリア	792	1.5%	+25.9%
タ イ	617	1.2%	-41.1%
カ ナ ダ	511	1.0%	+129.1%
シンガポール	251	0.5%	+54.9%
イ ン ド	153	0.3%	-63.6%
マレーシア	110	0.2%	+22.2%
その他ヨーロッパ	4,073	7.8%	—
その 他 ア ジ ア	661	1.3%	—
ア フ リ カ	317	0.6%	—
その他オセアニア	193	0.4%	—
中 南 米	107	0.2%	—
そ の 他	2,062	4.0%	—
合 計	51,899	100.0%	+75.2%

※ 「その他ヨーロッパ」、「その他アジア」、「アフリカ」、「その他オセアニア」、「中南米」について項目を追加した。

6. 観光入込客延べ数の分析

(1) 主要観光地観光入込客延べ数

市町村及び観光地・観光施設ごとの観光入込客延べ数の上位 10 箇所は以下のとおりである。

〈市町村〉

市町村名	入込客延べ数 (人地点)	対前年 増減
出雲市	12,495,489	-4.6%
松江市	10,061,918	+4.8%
浜田市	1,825,247	+3.7%
雲南市	1,482,906	+7.7%
大田市	1,381,353	-5.5%
安来市	1,287,206	-8.4%
津和野町	1,201,189	+4.8%
益田市	983,772	+2.5%
奥出雲町	812,982	-2.0%
邑南町	407,691	-5.2%

〈観光地・観光施設〉

観光地・観光施設名	入込客延べ数 (人地点)	対前年 増減
出雲大社(出雲市)	6,076,000	-8.6%
日御碕(出雲市)	1,183,095	-3.1%
島根ワイナリー(出雲市)	808,509	-6.8%
玉造温泉(松江市)	644,056	-7.6%
三瓶山(大田市)	617,400	+0.5%
石見海浜公園(浜田市)	614,240	+5.1%
松江城城山公園(松江市)	555,962	+31.1%
太鼓谷稲成神社(津和野町)	555,320	+2.6%
美保関(松江市)	531,192	+13.6%
松江城(松江市)	494,189	+31.1%

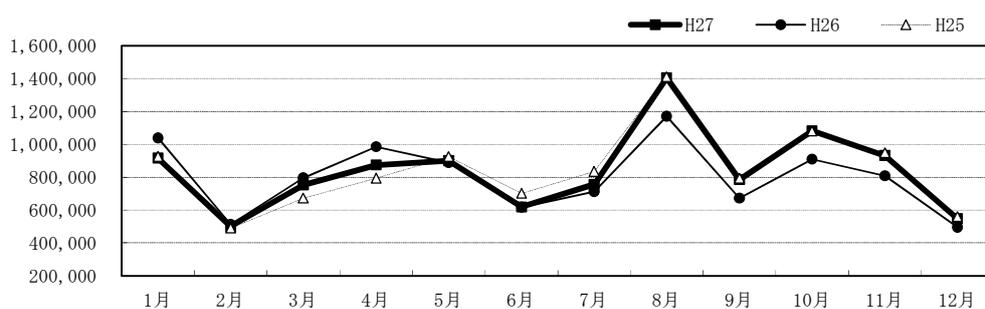
(2) 地域別観光入込客延べ数

地域別に観光入込客延べ数を比べると、最も多いのが出雲地域の 12,495 千人(-4.6%)、次いで松江地域の 10,062 千人(+4.8%)、雲南地域の 2,601 千人(+4.1%)、益田地域の 2,430 千人(+3.5%)、浜田地域の 2,104 千人(+4.0%)、大田地域の 1,959 千人(-3.2%)、安来地域の 1,287 千人(-8.4%)、隠岐地域の 220 千人(+6.9%) の順となった。

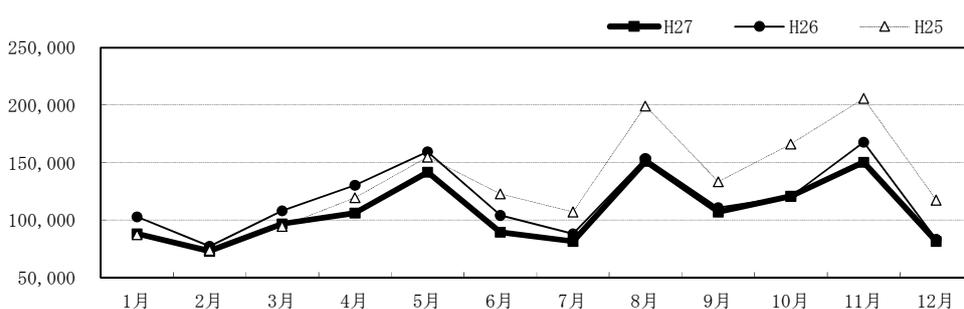
前年と比較して、出雲地域、大田地域、安来地域を除く地域で入込客延べ数は増加した。

〈地域別月別観光入込客延べ数〉

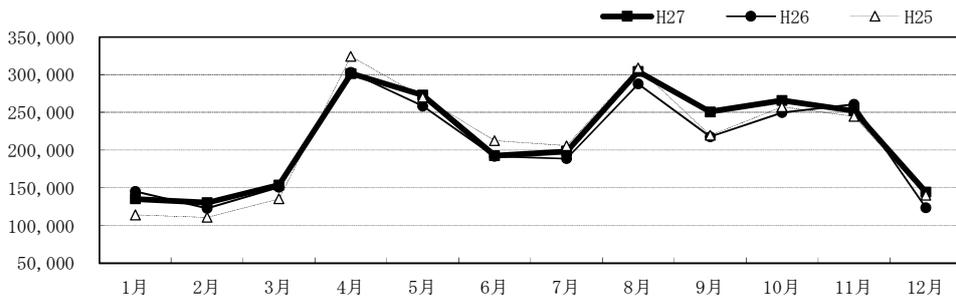
松江地域



安来地域

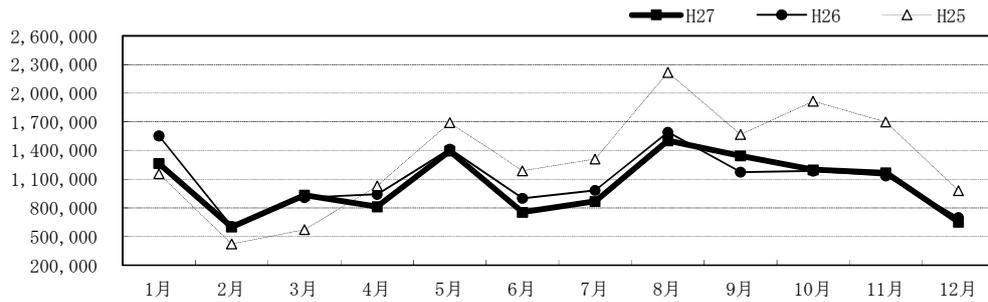


雲南地域



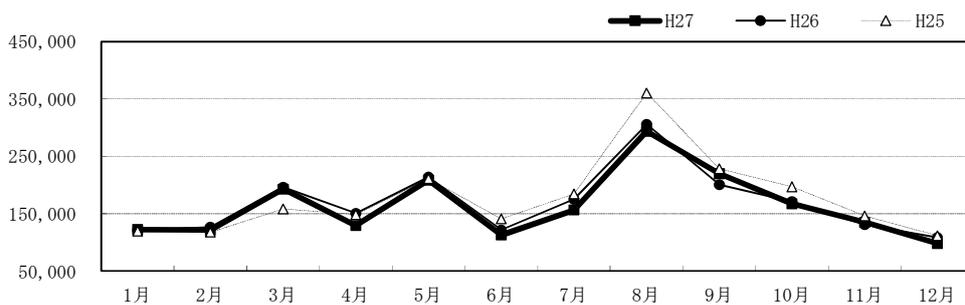
年	入り込み数
H27	2,600,974
H26	2,499,147
H25	2,542,601
対比	増減
H27対H26	+4.1%
H27対H25	+2.3%

出雲地域



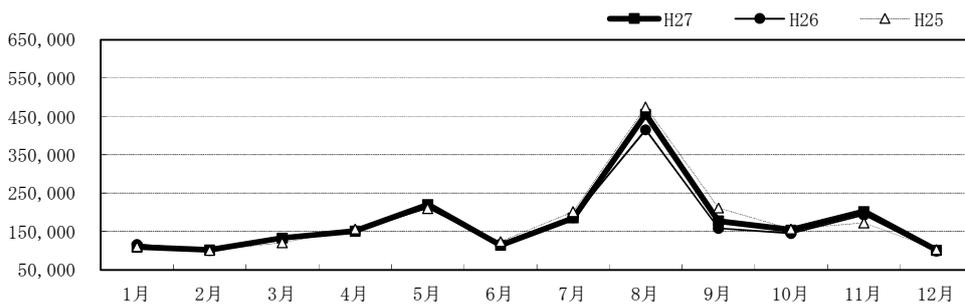
年	入り込み数
H27	12,495,489
H26	13,099,631
H25	15,758,052
対比	増減
H27対H26	-4.6%
H27対H25	-20.7%

大田地域



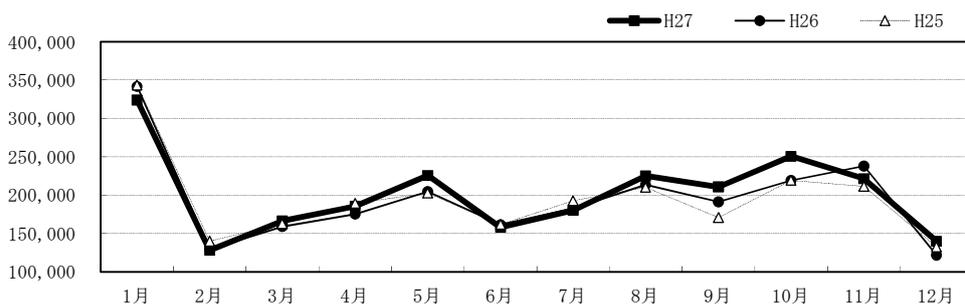
年	入り込み数
H27	1,959,422
H26	2,024,021
H25	2,126,491
対比	増減
H27対H26	-3.2%
H27対H25	-7.9%

浜田地域



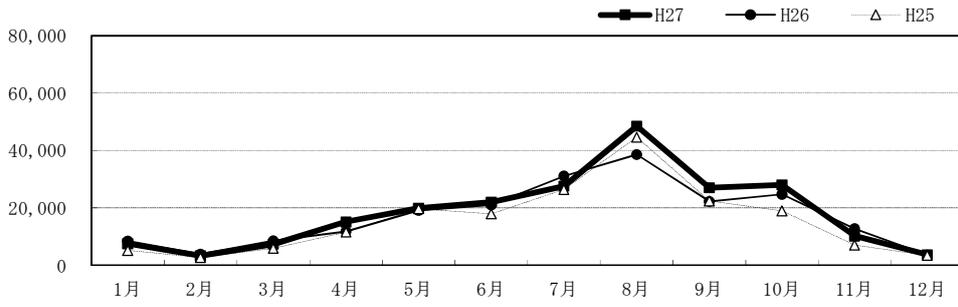
年	入り込み数
H27	2,103,719
H26	2,022,916
H25	2,140,510
対比	増減
H27対H26	+4.0%
H27対H25	-1.7%

益田地域



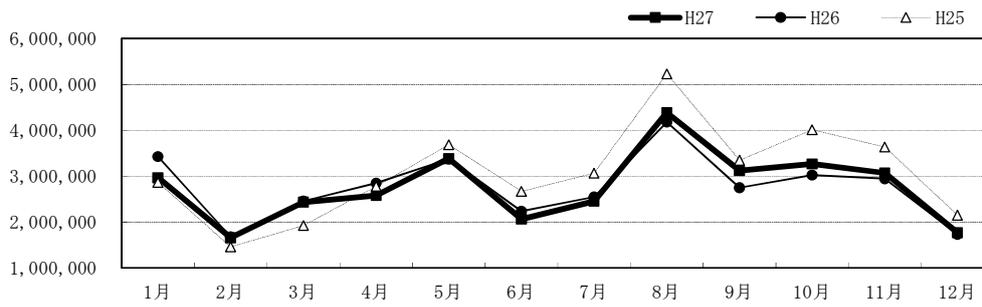
年	入り込み数
H27	2,429,512
H26	2,347,700
H25	2,352,104
対比	増減
H27対H26	+3.5%
H27対H25	+3.3%

隠岐地域



年	入り込み数
H27	220,190
H26	205,893
H25	185,866
対比	増減
H27対H26	+6.9%
H27対H25	+18.5%

全県

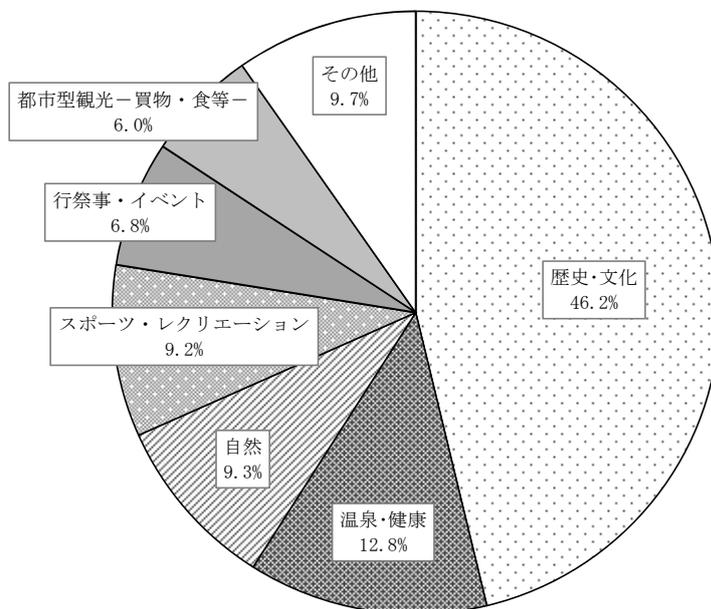


年	入り込み数
H27	33,158,430
H26	33,206,608
H25	36,818,538
対比	増減
H27対H26	-0.1%
H27対H25	-9.9%

(3) 行動目的別観光入込客延べ数

観光客の行動目的別（中分類）では「歴史・文化」が最も多く46.2%、次いで「温泉・健康」12.8%、「自然」9.3%、「スポーツ・レクリエーション」9.2%となっている。

〈行動目的別割合〉



行動目的 (中分類)	入込客延べ数 (人地点)	対前年増減
歴史・文化	15,329,614	-3.0%
温泉・健康	4,234,020	-1.9%
自然	3,090,970	+4.9%
スポーツ・レクリエーション	3,057,832	+2.6%
行祭事・イベント	2,240,557	+5.4%
都市型観光－買物・食等－	1,988,724	-0.6%
その他	3,216,713	+5.8%

《行動目的別（小分類）入込客延べ数の上位5区分（その他除く）》

行動目的 (中分類)	行動目的 (小分類)	入込客延べ数 (人地点)	対前年増減
歴史・文化	神社・仏閣	9,759,953	-6.9%
温泉・健康	温泉	4,234,020	-1.9%
歴史・文化	博物館	1,886,270	-0.7%
自然	海岸	1,625,526	+2.4%
歴史・文化	城	1,050,151	+31.1%

7. 観光客の動向（観光地点アンケートによる）

平成 27 年観光地点アンケート調査によって得られたデータをもとに、観光客の動向を分析する。

(1) 発地（住所）

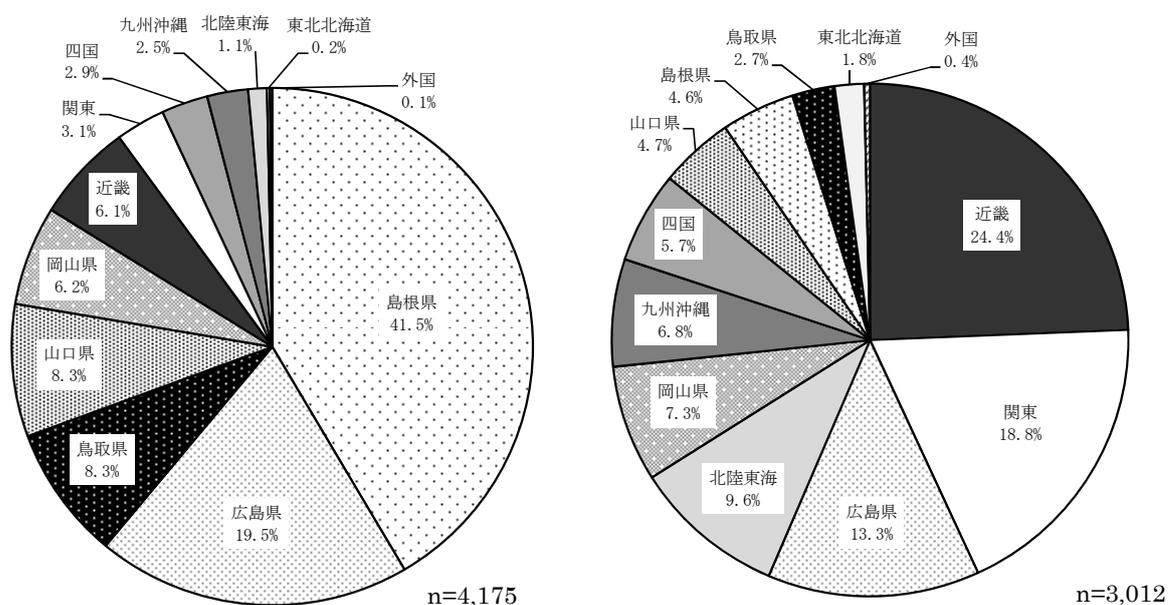
ア. 日帰り・宿泊別入り込み割合

日帰りでは、島根県が最も多く 41.5%、次いで広島県 19.5%であった。構成比は前年と同様の傾向を示している。

宿泊では、近畿が最も多く 24.4%、次いで関東 18.8%であった。関東の割合は、前年から 3.8 ポイント減少した。また中国 5 県の割合が前年から 4.5 ポイント増加し 32.6%となり、地方別で最も高い割合となっている。

【日帰り】

【宿泊】

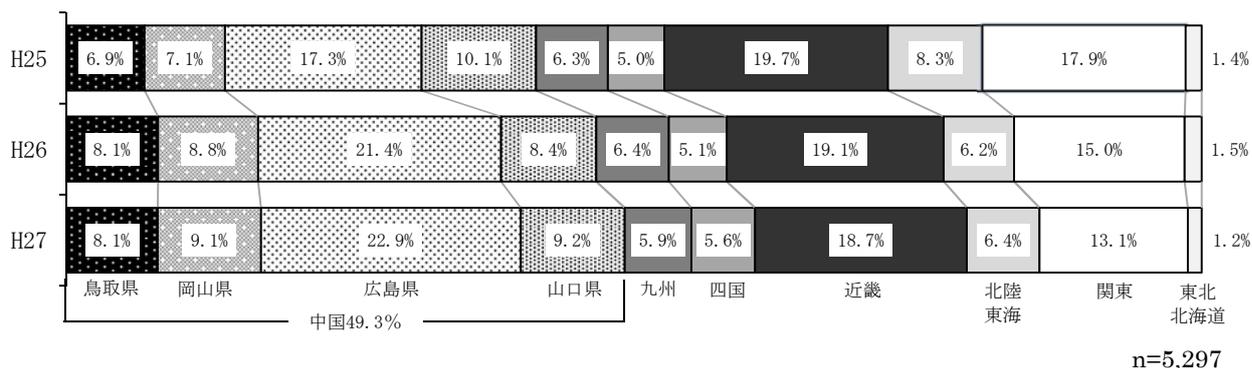


		東北北海道	関東	北陸東海	近畿	中国	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	四国	九州沖縄	外国
日 帰 り	H26	0.3%	2.7%	1.3%	6.6%	83.9%	8.9%	41.7%	6.4%	19.0%	7.9%	2.6%	2.6%	0.1%
	H27	0.2%	3.1%	1.1%	6.1%	83.9%	8.3%	41.5%	6.2%	19.5%	8.3%	2.9%	2.5%	0.1%
	対前年増減	-0.1%	+0.4%	-0.1%	-0.5%	-0.0%	-0.6%	-0.2%	-0.2%	+0.5%	+0.4%	+0.3%	-0.0%	+0.1%
宿 泊	H26	2.3%	22.6%	9.1%	24.4%	28.1%	2.0%	4.1%	6.6%	11.4%	4.0%	5.3%	7.8%	0.4%
	H27	1.8%	18.8%	9.6%	24.4%	32.6%	2.7%	4.6%	7.3%	13.3%	4.7%	5.7%	6.8%	0.4%
	対前年増減	-0.5%	-3.8%	+0.5%	-0.1%	+4.5%	+0.6%	+0.5%	+0.7%	+1.9%	+0.7%	+0.5%	-1.0%	-0.1%

イ. 県外観光入込客割合

県外客の発地別入込客割合は、広島県からが最も多く 22.9%、次いで近畿 18.7%、関東 13.1%となっている。中国 4 県を合わせると全体の約 5 割 (49.3%) を占めている。近年、中国 4 県の割合は増加傾向で推移し、近畿、関東の割合は減少傾向で推移している。

〈県外観光客発地別入込客割合の推移〉

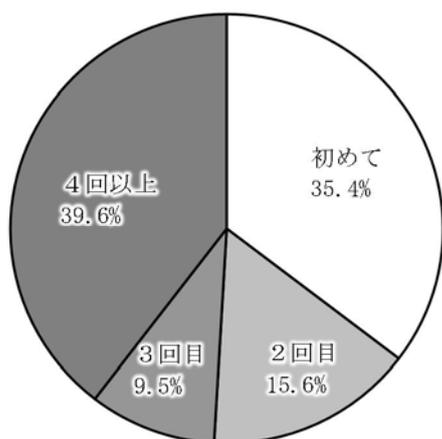


(2) 旅行回数

観光施設への訪問回数は、日帰りの場合は「4回以上」が最も多く、宿泊の場合は「初めて」が多い。島根県への訪問回数も同様の傾向であるが、「初めて」の割合は大きく下がる。

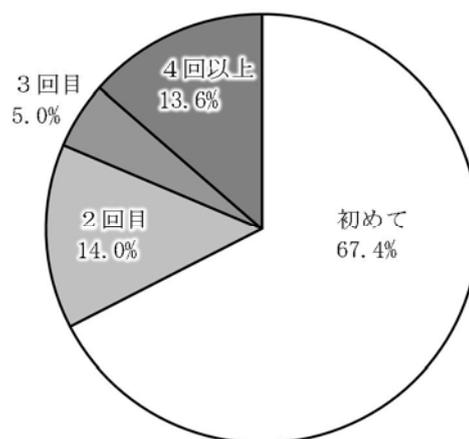
① 観光施設の訪問回数

【日帰り】



n=12,923

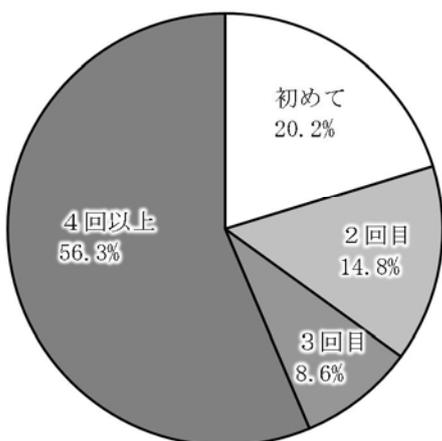
【宿泊】



n=9,792

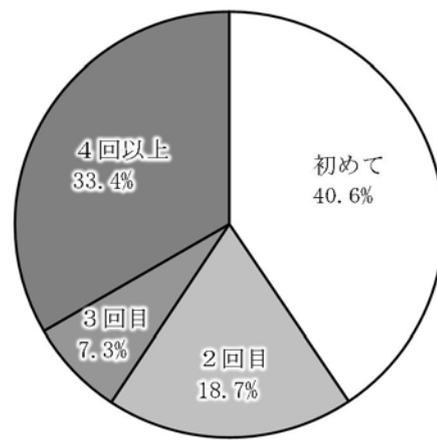
② 島根県の訪問回数(なお、この項目は県外客のみに島根県への訪問回数を質問している。)

【日帰り】



n=7,812

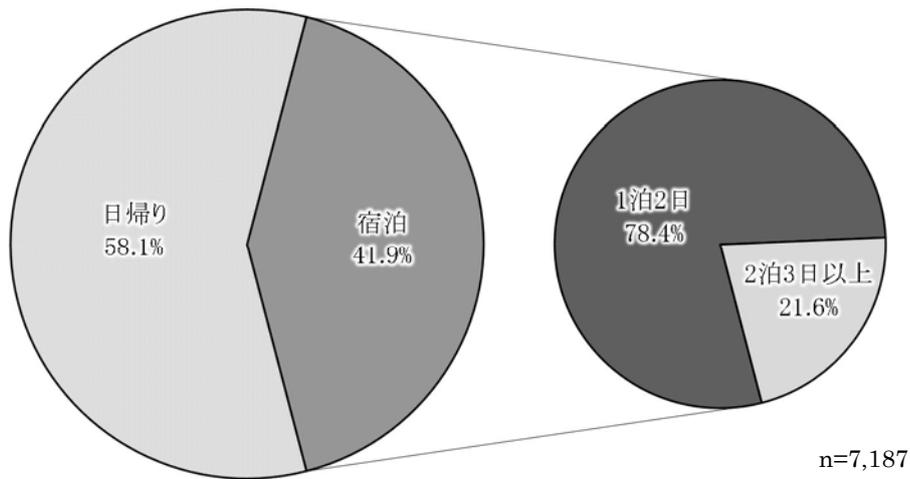
【宿泊】



n=9,035

(3) 旅行日程

「日帰り」が58.1%、「宿泊」が41.9%と、日帰り客の割合が高くなっている。
 「宿泊」のうち、78.4%が「1泊2日」となっている。

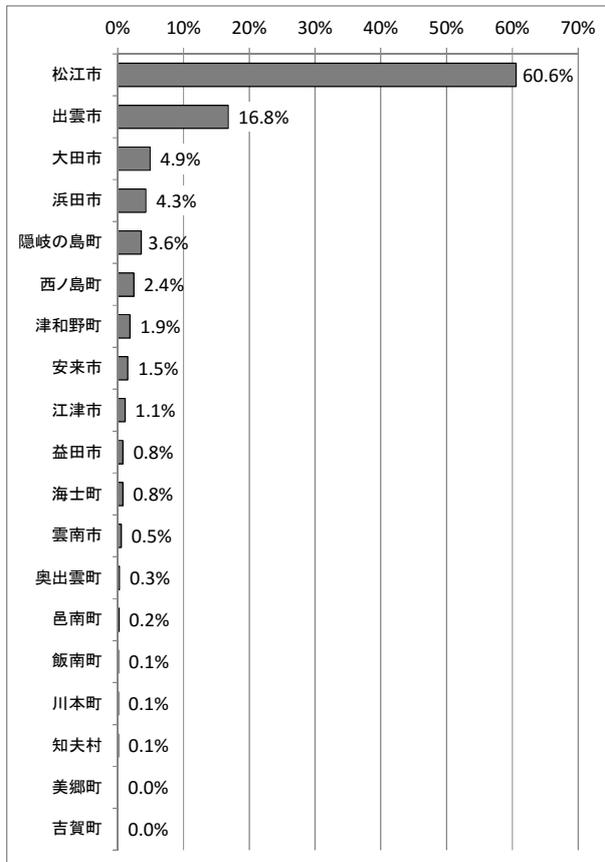


(4) 宿泊する市町村及び宿泊施設

宿泊する市町村では「松江市」が60.6%、次いで「出雲市」が16.8%となっており、全体の約8割（77.4%）を占めている。

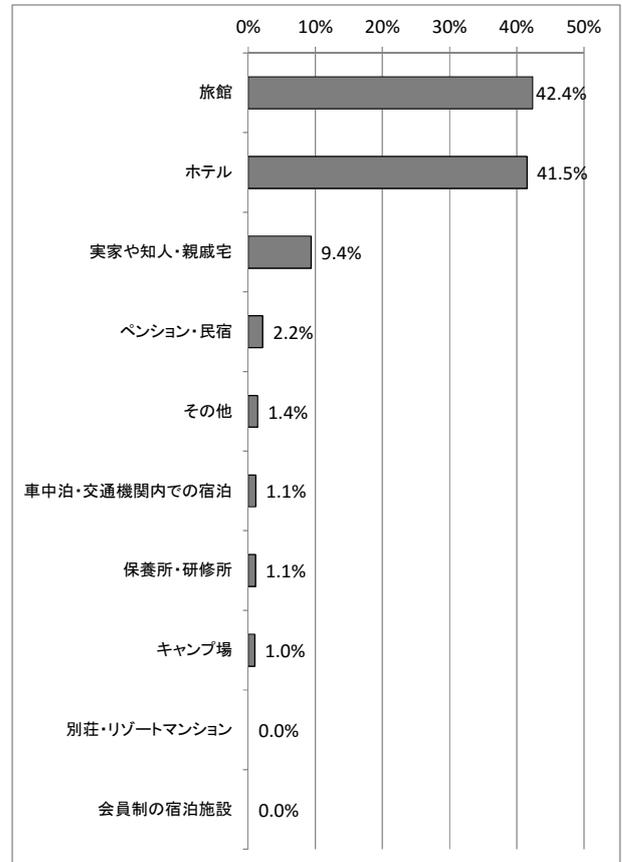
宿泊施設では「旅館」が42.4%、次いで「ホテル」が41.5%となっており、全体の約8割（83.9%）を占めている。

《市町村》



n=3,890

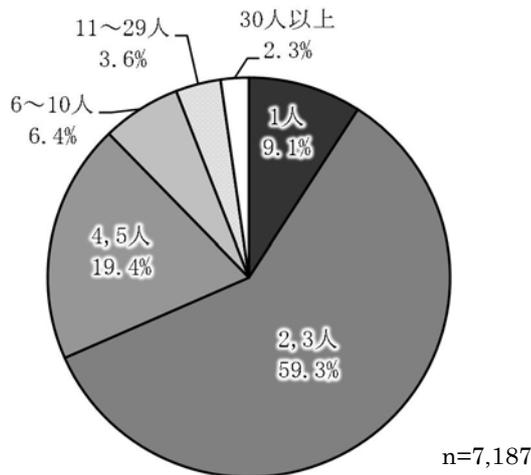
《宿泊施設》



n=3,890

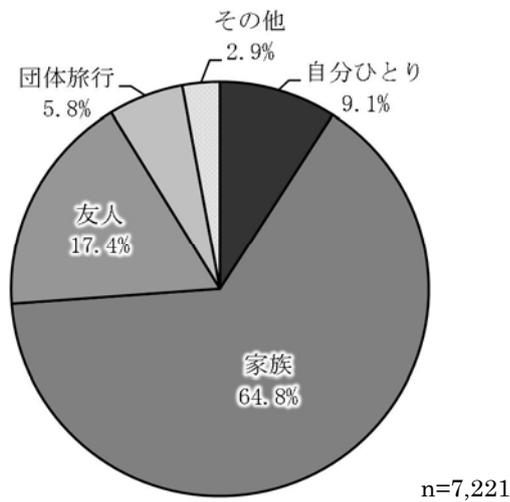
(5) 同行人数

「2、3人」が最も多く 59.3%、次いで「4、5人」が 19.4%となっている。



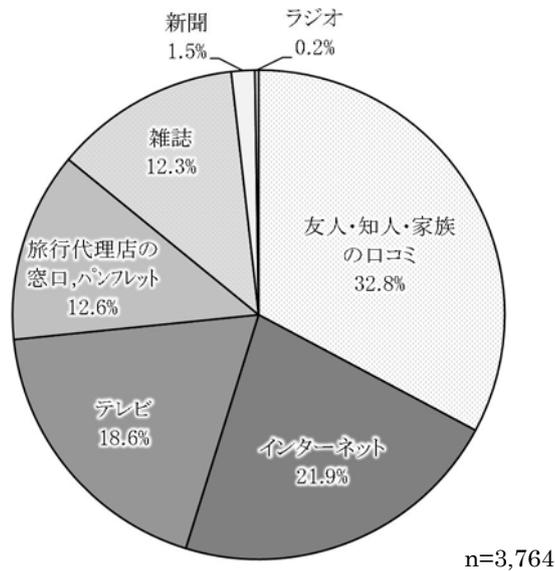
(6) メンバー構成

「家族」が最も多く 64.8%、次いで「友人」が 17.4%となっている。



(7) 旅行地を決定する際にきっかけとなった情報源

旅行地の情報を知っていた（その他を回答）を除くと、「友人・知人・家族の口コミ」が最も多く 32.8%、次いで「インターネット」が 21.9%となっている。



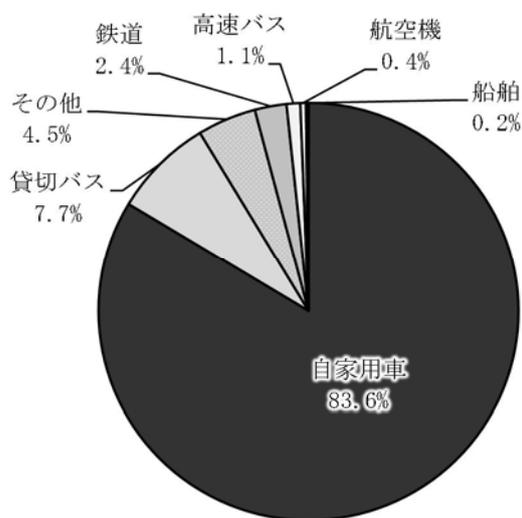
(8) 利用交通機関

ア. 日帰り・宿泊別入り込み割合

日帰りでは、「自家用車」が最も多く 83.6%、次いで「貸切バス」が 7.7%となっている。

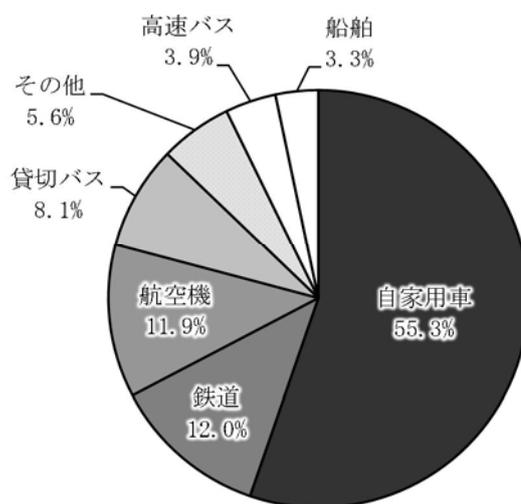
宿泊では、「自家用車」が最も多く 55.3%、次いで「鉄道」12.0%、「航空機」11.9%となっている。

【日帰り】



n=4,175

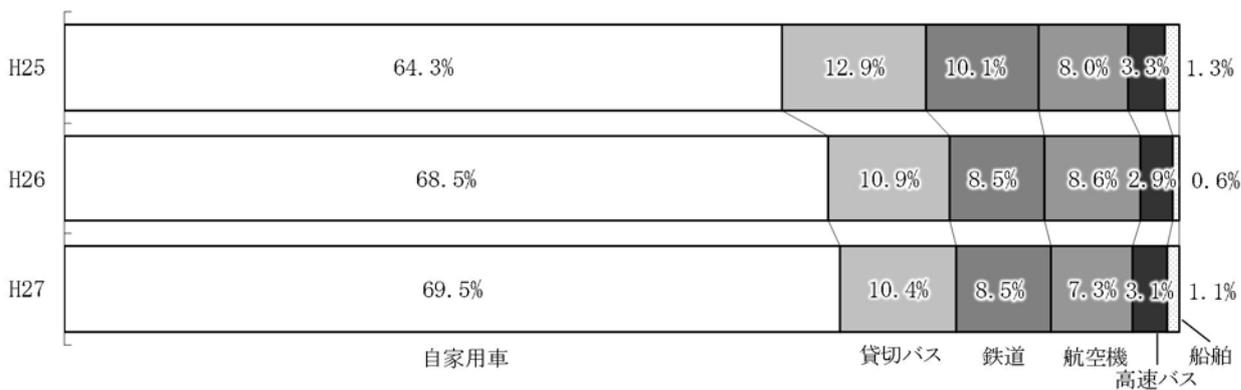
【宿泊】



n=3,012

イ. 県外観光客入り込み割合

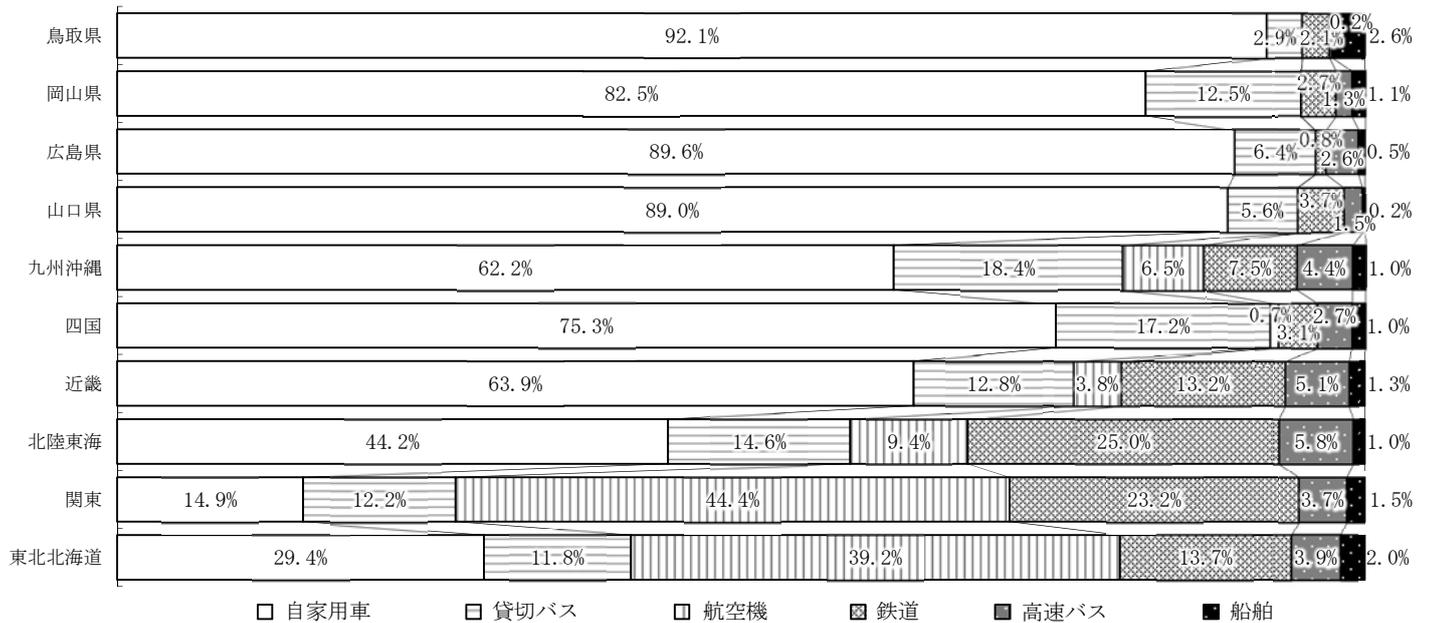
県外客について利用交通機関別にみると、「自家用車」が最も多く 69.5%、次いで「貸切バス」10.4%、「鉄道」8.5%となっている。



n=5,080

ウ. 県外地域別移動手段別割合

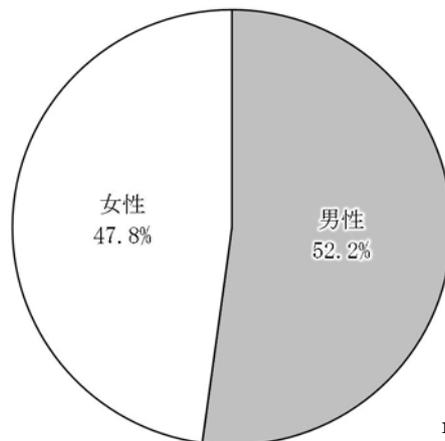
県外客について地域別にみると、中国、九州沖縄、四国、近畿では「自家用車」が5割以上を占め、関東、東北北海道では「航空機」が最も高くなっている。



(9) 性別

n=5,064

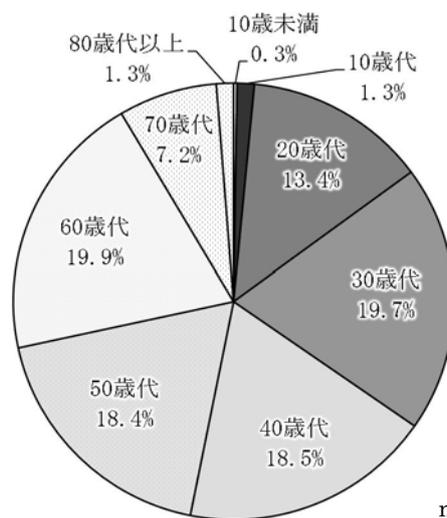
「男性」が52.2%、「女性」が47.8%とほぼ同等であった。



n=7,187

(10) 年齢

30歳代から60歳代が約2割ずつを占めている。

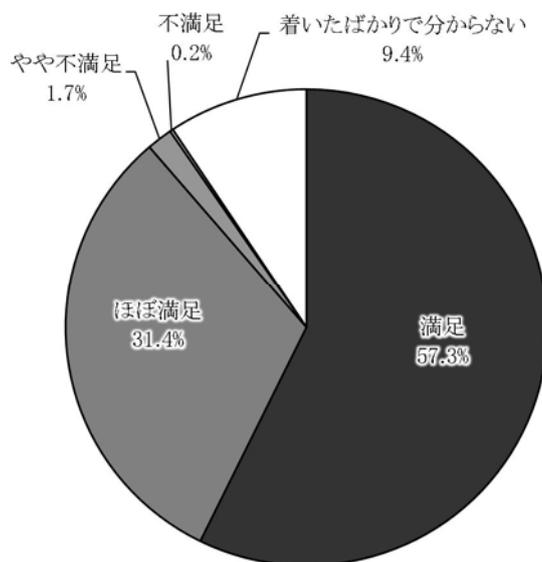


n=7,187

(11) 満足度

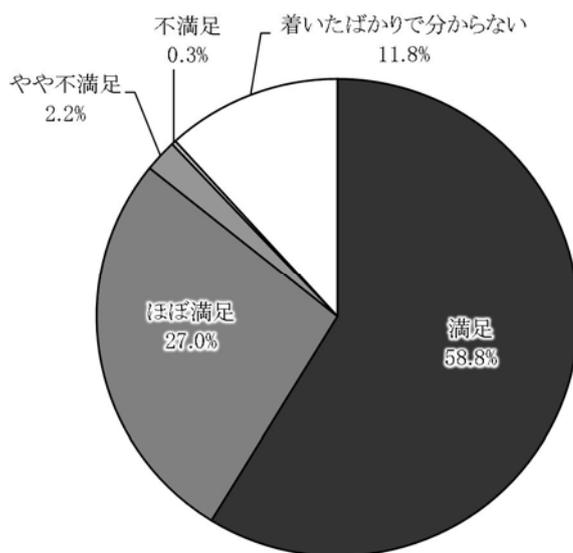
日帰り宿泊ともに、「満足」と「ほぼ満足」を合すると8割以上であった。

【日帰り】



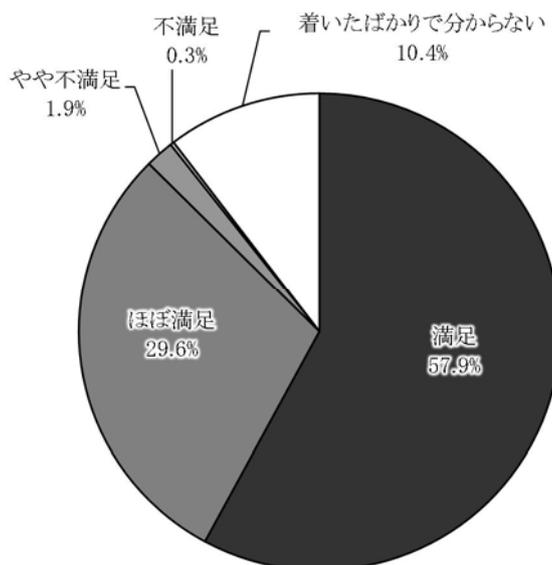
n=4,175

【宿泊】



n=3,012

【全体】



n=7,187